



## 平成25年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年7月11日

上場会社名 株式会社サダマツ 上場取引所 大  
 コード番号 2736 URL http://www.sadamatsu.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 貞松 隆弥  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 磯野 紘一 TEL 03 (5768) 9957  
 四半期報告書提出予定日 平成25年7月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年8月期第3四半期の連結業績（平成24年9月1日～平成25年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年8月期第3四半期	5,759	1.3	△5	—	△19	—	△54	—
24年8月期第3四半期	5,686	5.9	109	△21.7	73	△33.6	△6	—

(注) 包括利益 25年8月期第3四半期 △11百万円 (—%) 24年8月期第3四半期 △4百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年8月期第3四半期	△4.91	—
24年8月期第3四半期	△0.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年8月期第3四半期	5,796	1,358	23.2
24年8月期	5,870	1,385	23.4

(参考) 自己資本 25年8月期第3四半期 1,346百万円 24年8月期 1,371百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年8月期	—	0.00	—	2.00	2.00
25年8月期	—	0.00	—	—	—
25年8月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年8月期の連結業績予想（平成24年9月1日～平成25年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,900	1.2	140	△47.4	110	△50.0	25	△68.4	2.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年8月期3Q	11,387,000株	24年8月期	11,387,000株
② 期末自己株式数	25年8月期3Q	135,284株	24年8月期	290,167株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年8月期3Q	11,138,348株	24年8月期3Q	11,097,517株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 p. 2 「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年9月1日～平成25年5月31日）におけるわが国経済は、政権交代に伴う政府や日銀による経済・金融政策への期待感から円安や株高が進行し、消費マインドの改善がみられるなど回復基調となりました。しかしながら、欧州景気の低迷に加え、中国景気の鈍化が回復ペースを減速させるなど依然として先行き不透明な状況となりました。

流通業界におきましては、企業や家計の景況感が改善傾向となるなか、百貨店での高額品の売れ行きが好調に推移するなどのプラス面がある一方で、全体的な所得環境に大きな改善はみられず、依然として企業間の価格競争が求められるなど、厳しい経営環境が続きました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、「成長軌道の確立」に向けて、ジュエリーにおける精神価値訴求型のブランド・イメージ戦略を成長戦略の基軸に据え事業を推進してまいりました。

親会社の株式会社サダマツでは、その核となる取り組みとして、当社独自の特別なカットにより大小2つの星が映し出されるダイヤモンド“Wish upon a star”を開発し、「夢を叶えるダイヤモンド」をテーマとしたプロモーション活動や当社の強みを活かした提案販売による精神価値マーケットの創造に注力しました。その結果、差別化商品としての認知度が段階的に向上し、売上は好調に推移しております。店舗展開におきましては、3月にアミュプラザ小倉店（福岡県）、マルイファミリー志木店（埼玉県）の2店舗、4月にマークイズ静岡店（静岡県）、名鉄百貨店（愛知県）、イオンモール東久留米店（東京都）、新宿タカシマヤ店（東京都）の4店舗をそれぞれ新規出店し、当第3四半期連結会計期間末の国内店舗数は83店舗となりました。このような取り組みにより、国内売上高は前年同期に比べ1.2%増加しました。

利益面に関しては、地金価格の段階的な高騰が利益圧迫要因となりましたが、売上高の増加に加え、販売価格の改定やベトナム子会社の活用で商品原価の低減に努めた結果、売上総利益は前年同期を上回りました。営業利益に関しては、積極的なブランド強化策や各分野における専門性の高い人材の確保に投下した費用に加え、集客拡大のための宣伝広告費の投入により販売費及び一般管理費が前年同期に比べ大幅に増加したため、若干のマイナスとなりました。経常損益に影響を及ぼす営業外損益に関しましては、為替変動に伴う為替差益の発生に加え、有利子負債の圧縮により支払利息が低減したため、前年同期に比べ大きく改善しました。

海外小売部門である在台湾子会社の台湾貞松股份有限公司（日本名：台湾貞松(株)）に関しては、グループマネジメント体制の再強化を進めた結果、売上・利益ともに大きく改善しました。海外生産部門である在ベトナム子会社のD&Q JEWELLERY Co., Ltd.（日本名：ディーアンドキュー ジュエリー）に関しては、“Wish upon a star”を中心とした主軸商品や高額商品の生産を拡大するなどグループシナジーの最大化を目的とした製造機能強化を図りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高5,759百万円（前年同四半期比1.3%増）、営業損失5百万円（前年同四半期営業利益109百万円）、経常損失19百万円（前年同四半期経常利益73百万円）、四半期純損失54百万円（前年同四半期純損失6百万円）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は5,796百万円となり、前連結会計年度末に比べ74百万円減少いたしました。その要因は主に、商品及び製品が248百万円、原材料が32百万円、有形固定資産が65百万円、投資その他の資産が22百万円増加したものの、現金及び預金が392百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は4,437百万円となり、前連結会計年度末に比べ47百万円減少いたしました。その要因は主に、未払金及び未払費用が45百万円、長期借入金が87百万円増加したものの、社債が50百万円、未払法人税等が131百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は1,358百万円となり、前連結会計年度末に比べ26百万円減少いたしました。その要因は主に、為替換算調整勘定が42百万円増加したものの、利益剰余金が82百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は23.2%となり、前連結会計年度末に比べ0.2ポイント減少いたしました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年8月期の連結業績予想につきましては、第3四半期累計期間までの業績及び第4四半期の業績見込みを踏まえ、平成24年10月12日に公表いたしました予想数値を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,173,485	781,213
受取手形及び売掛金	613,712	541,959
商品及び製品	2,602,497	2,850,877
原材料	278,257	310,937
繰延税金資産	35,836	28,417
その他	83,388	115,607
貸倒引当金	△892	△977
流動資産合計	4,786,284	4,628,035
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	326,391	390,299
減価償却累計額	△149,283	△188,064
減損損失累計額	△4,036	△4,036
建物及び構築物（純額）	173,072	198,198
機械装置及び運搬具	44,964	54,403
減価償却累計額	△30,448	△38,866
機械装置及び運搬具（純額）	14,515	15,537
工具、器具及び備品	139,413	180,119
減価償却累計額	△90,696	△105,861
減損損失累計額	△904	△904
工具、器具及び備品（純額）	47,812	73,352
土地	90,478	90,478
リース資産	86,271	115,013
減価償却累計額	△28,331	△42,778
リース資産（純額）	57,940	72,235
有形固定資産合計	383,819	449,802
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	96,427	97,614
繰延税金資産	50,563	56,486
差入保証金	433,506	442,919
その他	96,401	103,979
貸倒引当金	△4,857	△6,261
投資その他の資産合計	672,040	694,738
固定資産合計	1,074,588	1,159,981
繰延資産	9,784	8,091
資産合計	5,870,657	5,796,108

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	662,513	675,333
短期借入金	1,937,856	1,916,138
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
未払金及び未払費用	397,620	443,081
未払法人税等	131,659	—
賞与引当金	41,863	39,198
その他	204,465	169,066
流動負債合計	3,475,977	3,342,818
固定負債		
社債	350,000	300,000
長期借入金	401,432	489,198
退職給付引当金	135,210	155,021
その他	122,724	150,570
固定負債合計	1,009,366	1,094,789
負債合計	4,485,344	4,437,608
純資産の部		
株主資本		
資本金	743,392	743,392
資本剰余金	550,701	550,701
利益剰余金	172,979	90,851
自己株式	△27,167	△12,674
株主資本合計	1,439,905	1,372,269
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△409	78
為替換算調整勘定	△68,114	△25,518
その他の包括利益累計額合計	△68,523	△25,440
新株予約権	13,931	11,671
純資産合計	1,385,313	1,358,499
負債純資産合計	5,870,657	5,796,108

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)
売上高	5,686,528	5,759,542
売上原価	2,239,758	2,281,216
売上総利益	3,446,770	3,478,325
販売費及び一般管理費	3,336,787	3,483,791
営業利益又は営業損失(△)	109,982	△5,465
営業外収益		
受取利息	1,654	1,104
受取家賃	857	857
協賛金収入	399	2,271
為替差益	—	18,915
その他	1,240	1,168
営業外収益合計	4,151	24,317
営業外費用		
支払利息	34,295	29,040
社債利息	1,651	1,947
社債発行費償却	940	1,693
社債保証料	1,737	2,350
為替差損	1,297	—
その他	692	2,921
営業外費用合計	40,614	37,952
経常利益又は経常損失(△)	73,519	△19,100
特別損失		
その他	902	—
特別損失合計	902	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	72,616	△19,100
法人税、住民税及び事業税	59,193	34,135
法人税等調整額	19,599	1,496
法人税等合計	78,793	35,631
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△6,176	△54,732
四半期純損失(△)	△6,176	△54,732



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△6,176	△54,732
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	170	487
為替換算調整勘定	1,591	42,595
その他の包括利益合計	1,761	43,082
四半期包括利益	△4,415	△11,649
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,415	△11,649

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。